

ゴーヘッドズ 速報



第20号 平成23年7月1日

勝ちたい気持ちが勝利を呼ぶ!

2試合連続サヨナラ勝ち!!!

	1	2	3	4	5	6	7	R
H	0	0	0	1	1	0		2
G	1	0	0	0	0	2 x		3



7/1(日)三ツ沢公園野球場にて、区民大会3回戦@浜友戦を行った。ゲーム開始前まで、天候は持っていたが、開始直前に小雨だった雨が、強くなり、審判回より両チーム主将に対して、この状態での開催するかの意思確認が行われた。が、結果両主将の答えはYES!そして、初の8を掛けて16:25プレイボールとなった。先発は燃えている達脇。先頭を投飛、後続を見逃しにし、あっさり二死を取った後、場面が少し動いた。雨による送球がベンチが見た不安要素であったが、まさにそれが的中してしまった。積極的に捕球をしたまでは良かったが、送球が一塁こすけの頭上を遙かに越える暴投で一挙二塁まで進塁させ、一気に場面はピンチと変わった。が、続く4番の強烈なライナーを暴投した深沢ががっちり捕球し、この回事なきを得た。ピンチの裏にはチャンス有りの言葉とおり、二人が倒れたが、三番祐太郎が二塁打で出塁、そして、昨日ホームランを打っているこすけが、きっちりセンターオーバーに運び祐太郎が二塁よりホームインし、先制点を挙げた。二回・三回共に、ランナーを出すものの、お互いに打線が繋がらず0点止まり、そんな中、ゲームが動いた。この回先頭打者に中前安を放たれ続く打者を四球で出塁、場面は無死一・二塁のピンチに。しかし、続く打者は、三塁ゴロを打たせ、5C-3のDPをゲットしたが、一塁ランナーの好走塁で三塁まで進めた。続く打者も三塁ゴロを打たせたが、前に出て捕球するのでは無く、バウンドを合わせて取る方法を選択したが、結果、これが、若干のイレギュラーを呼びハンドリングしている間にホームインを許し、同点としてしまった。5回からは、マウンドが林に変わり、その先頭打者を四球で出塁させ、二死から中越2ベースを放たれ、2点目を許してしまった。裏の回も我が打線はあっさり三者凡退し、時間的に最終回となった6回表、一死を取ったが、続く打者を死球で出塁を許した。が、林曰く「見えていたので、刺せました。」の言葉とおり、一二塁間に誘き出し挟殺で二死、しかし、続く打者には四球、更には安打で出塁と依然ピンチが続いたが、昨日同様、ライトの木村が好捕を見せ、最後の攻撃に繋げた。得点差は僅かに1点、打順は二番からと、最後の攻撃には打ってつけ、だが、問題は出塁出来るかどうかである。この場面で今日特打ちを行った哲也が初球を振り切り、二遊安で出塁、3番祐太郎は気持ちの一二安で出塁、この間哲也が好走塁で一気に三塁まで進み、同点のチャンスを出した。こすけは四球を選択し無死満塁、続く打者は、昨日久々の安打を放った裕太、この打者の時にWPであっさり同点とし、これでベンチは頂点に!だが、スイングの良さとは裏腹で結果は空三振、続くたかあき、彼も今期今ひとつ波に乗れて居ない、が、最低限の仕事は、外野フライか叩くバッティング、その彼の打球はショートほぼ正面のゴロ、この打球を見ずに果敢にホームを目指した祐太郎の走塁が野手の焦りを呼び、送球が少し逸れたところを上手くスライディングし、二試合連続のサヨナラ勝ちを決めた。振り返ってみると、やはりチーム一丸勝ちたい!という気持ちが打線の巡り合わせや、結果を運んだと思う。プレイは基本があって、応用・臨機有るが、やはり大事な場面は基本に徹した方が良いだろう。これは、今日サードの深沢が一番実感したのでは無いか?と思う。また、結果は受け止め、気持ちを切り替える事も野球にとっては、非常に重要な事。いつまでも失敗を引きずらず、元気よくプレーする事、これ非常に大事!様々な要因がチームに影響するのだから・・・さー、次は4決定だ。この気持ち・勢いで悲願の上位進出を目指そう!!! それにしても勝って良かった (by 深沢)